

女性と創造力、女性の創造力

21世紀はじめの現代、「創造性」「創造力」という言葉が、子どもから大人までの教育の分野においてしばしば用いられている。現代、ある程度「先進国」となった地域において、第三次産業を充実させ、人間のコミュニケーション能力や知的能力を育てていかななくてはならないという、経済界の要請がその背後にはうかがわれる。

ドイツ語の歴史的哲学概念辞典をひもとくと、Kreativität や creativity という概念はあまり古いものではなく、1930年代ころから、心理学の研究対象領域の名前として用いられているが、「いまだに科学的概念として正確に定義されていない」¹⁾。

青山学院女子短期大学総合文化研究所の2006年度・2007年度研究プロジェクトとしての「女性と創造力、女性の創造力」共同研究は、「創造力」についての厳密な定義を前提としたものではない。また、心理学の方法論に立つ研究でもなく、「創造力」を客観的な指標に基づいて測定するものでもない。プロジェクト参加者は、おのおの、アメリカ史（荒木）、イギリス思想史（梅垣）、ドイツ思想史（中井）、織物作家（阿久津）、画家（淀井）の立場から、このテーマに取り組んだ。「創造力」を、科学・文学・芸術などの分野において、新たな価値や思想や作品を「つくる」活動、新たな分野を拓く活動、それらの活動についての省察ととらえ、そのことが「女性」においてどうであったか、どうであるか、具体的なケースを取り上げている。

織物作家と画家という、創作に取り組む作家を参加者としていることはこのプロジェクトの特色であり、専門化の進む現代、大学にあって、ジャンルを超えた意見交換ができたことは、収穫であった。

このプロジェクトでは、共通の活動として、さまざまな講演会を開催し、その後、議論によりテーマの理解を深めた。講演会は以下のとおりである。2006年度には、竹原あき子「縞の由来：女性の指先が紡いだデザイン」、長谷川まゆ帆「17世紀に女が書くこと、描くこと～博物画家メーリアンの場合」、リズ・ブリザード「女性と創造力」、玉蟲敏子「江戸の女文化と美術」、北原めぐみ「『ディナー・パーティー』から〈ゲリラ・ガールズ〉まで」、古澤ゆう子「古代ギリシア叙事詩『オデュッセイア』の女神・魔女・人間女性」の講演会が開催された。2007年度には、菅靖子「自由学園工芸研究所とモダニズム期日本の工芸産業～今井和子のドイツ留学」、高野公彦「女性と短歌」、仲間裕子「ハンナ・ヘッヒとフォトモンタージュ」、宇沢美子「C・P・ギルマンの衣装哲学～病気・広告・ユートピア」、菅沼眞砂子「女性とことば」、伊ワタルリ「女性と創造力」という講演会を開催した。

¹⁾ *Historisches Wörterbuch der Philosophie*. Bd. 4 (1976), Sp. 1194.

これらの講演会をととして、視野が広がり、現代の問題と歴史の中の過去の問題との関連が、より明らかになってきた。さまざまな問題提起は、それぞれが研究を進めていくうえで、刺激を与えた。講演者、参加者の方々に深く感謝している。

2006年度と2007年度の年度末には、それぞれ合宿を行い、意見を交換し、メンバーの相互理解をはかり、テーマの理解を深めた。また、メンバーはおのおの海外出張により、資料を収集した（阿久津：ドイツ、荒木：イギリス、梅垣：フランス、中井：イギリスとドイツ、淀井：フランス）。

メンバーが当初掲げていたテーマは以下のとおりである。

梅垣千尋 「18世紀イギリスにおける女性と創造力～言説の変化とせめぎあい」

荒木純子 「初期アメリカにおける女性の知と創造」

中井章子 「ヨーロッパ思想史における女性の創造力」

阿久津光子 「バウハウス織工房の女性アーティスト達」

淀井彩子 「造形表現における女性と創造力」

「女性と創造力、女性の創造力」というテーマは、広範囲なものであり、「女性とは何か」にせよ、「創造力とは何か」にせよ、答えがすぐに出る問題ではない。今回、メンバーがそれぞれまとめた研究成果は、本年報に掲載された論文によって明らかであるが、このプロジェクトをととして与えられたもの自体は、今後もそれぞれが育てていくであろう、さらに豊かなものを含むと思われる。

（中井章子）

「女の天才」の称揚とその波紋——18世紀後半イギリスにおける女性と創造力——

梅垣 千尋 （英文学科専任講師）

ドイツ初期ロマン主義における「女性と創造力、女性の創造力」について
～カロリーネの場合

中井 章子 （教養学科教授）

エリザベス・ブラックウェルにおける専門職と性差と身体生理～19世紀半ばの
アメリカにおける医学と女性

荒木 純子 （英文学科専任講師）

バウハウス織物工房の女性アーティスト達

阿久津 光子 （芸術学科准教授）

造形表現における女性の創造力

淀井 彩子 （芸術学科教授）